

単元目標

- ・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。
- ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉のおもしろさに気付く。

単元評価規準

- ・相手意識をもって自分の将来の夢について紹介している。
- ・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。
- ・就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。
- ・世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることや、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。

表現

I want to be a teacher. What do you want to be?
 doctor, cook, farmer, florist, singer, firefighter, soccer player, bus driver, cabin attendant, vet, zookeeper, comedian, baker, dentist, artist

単元計画（4時間）

時	目標と主な活動	評価			
		コ	慣	気	
1	様々な職業の言い方を知る。 ○「ジェスチャークイズ」ジェスチャーを見て、何の職業か当てる。 ○「キーワードゲーム」 ○「ビンゴゲーム」 ○「ポインティングゲーム③④」職業を表す語を聞いて、ペアでゲームをする。				本時では、原則として評価結果は記録しないが、目標に向けての指導は行う。
2	様々な職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付く。 ○「カード取りゲーム」 ○「ラッキーカードゲーム」 【L】「だれの夢か、考えよう。」音声教材を聞いて登場人物の就きたい職業とその理由を聞き取る。 【C】“What do you want to be?” ○「ミッシングゲーム」職業を表す語の特色を知り、日本語の職業の特色についても考える。		○	○	・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検> ・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検> ・職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>
3	就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C】“What do you want to be?” ○「ステレオゲーム」 ○「チェーンゲーム」グループで列になり、就きたい職業を伝えていく。 【P】「友だちに夢についてインタビューしよう。」 【A】「あなたの『夢宣言』をしよう。」（準備）		○	○	・就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検> ・就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。<行動観察・誌面点検・振り返りカード点検>
4	世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることに気付き、相手意識をもって自分の夢を紹介しようとする。 【C】“What do you want to be?” 【A】「あなたの『夢宣言』をしよう。」グループ対抗で、クイズ形式で就きたい職業を紹介する。	○	○	○	・相手意識をもって自分の夢を紹介している。<行動観察・振り返りカード点検> ・世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>

2-Lesson 8 What do you want to be? 1/4 時間

目 標 様々な職業の言い方を知る。

準 備 教師用絵カード (職業), デジタル教材, (振り返りカード)

巻末児童用絵カード (職業 : p. 53, 55 あらかじめ切り分けさせておくとうい)

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○ジェスチャークイズをする。 ・指導者のするジェスチャーを見て、職業を推測して答える。 ・様々な職業の言い方を知る。	・小学校6年生の時の夢と現在の夢をジェスチャーで示し、それがどんな夢か尋ねる。 ・児童から答えを引き出ししながら、それらの夢の英語での言い方を紹介し、教師用絵カードを黒板に貼る。また、その職業に就きたいかどうか尋ねる。 ・様々な職業をジェスチャーで表し、それが何か尋ねる。児童から答えを引き出しながら、職業を表す語の言い方を紹介し、教師用絵カードを黒板に貼る。また、その職業に就きたいかどうか尋ねる。 ・外来語とそのもととなる英語とでは、音が違うことに気付かせるようにする。	教師用絵カード (職業)
○キーワードゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 5 参照)	・職業を言い、児童に繰り返し言わせる。	教師用絵カード (職業) デジタル教材
○ビンゴゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 30 参照) ・巻末児童用絵カードを切り取り、3×3列に机の上に並べ、ビンゴシートを作る。 ・指導者が言う職業の絵カードがあれば裏返しにする。縦横斜めに絵カードが裏返れば、ビンゴと言う。	・ビンゴゲームのやり方を説明し、職業を言う。 ・児童が絵カードを裏返すのを見届けてから、教師用絵カードを見せて確認する。 ・ビンゴが出たら、新たにビンゴシートを作成し、何度も繰り返してゲームをさせる。	教師用絵カード (職業) 巻末児童用絵カード (職業) デジタル教材
○ポインティングゲーム③④をする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 5 参照) ・ペアで競争させ (③) た後、さし示した指をそのまま残して競争させる (④)。	・ペアになり、1つの誌面でゲームを行わせる。 ・慣れてきたら、職業を2つ連続して言い、後に言った職業の絵をさし示させるようにする。	教師用絵カード (職業)
・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをはめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価規準

原則として、評価結果は記録しない。

2-Lesson 8 What do you want to be? 2/4 時間

目標 様々な職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付く。

準備 教師用絵カード (国旗・チャンツ用), デジタル教材, (振り返りカード),
巻末児童用絵カード (職業)

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○カード取りゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 31 参照) ・グループで、巻末児童用絵カード2組を用意してゲームをする。	・各グループ、巻末児童用絵カード2組で行わせ、2人の児童がカードを取れるようにする。 ・職業を言う。	教師用絵カード (職業) 巻末児童用絵カード (職業) デジタル教材
○ラッキーカードゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 31 参照) ・グループで、What card do you want? ~, please. の表現を使って行う。	・代表児童とデモンストレーションをして、やり方を示す。 ・ゲーム終了時に、あらかじめラッキーカードとして決めておいた職業を発表する。 ・何度か繰り返して行う。 ※評価①	教師用絵カード (職業) 巻末児童用絵カード (職業) デジタル教材
【Let's Listen】 p. 38 ・音声教材を聞いて、誌面の子どもたちの将来の夢を聞き取る。	・誌面は、田中先生や子どもたちが外国語活動の時間に、将来の夢についてインタビューしている場面であることを伝え、音声教材を聞かせる。 ・ともえたちの将来の夢について聞き取ったことを尋ねる。ともえたちの夢をとらえて、児童にもそれらの職業に就きたいか尋ねる。 ※評価①	教師用絵カード (国旗) デジタル教材
【Let's Chant】 “What do you want to be?” p. 40 ・音声教材を聞いて、教師用絵カードを見ながら言う。 ・別の職業に替えて言う。	・教師用絵カードを見せながら、一緒に言う。 ・別の職業に替えて、一緒に言う。	教師用絵カード (職業) デジタル教材
○ミッシングゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照) ・なくなったカードの職業を言う。 ・日本語の職業を表す語の語尾について考え、「家」「士」「者」などがつくことを発表する。	・教師用絵カード6~8枚を黒板に貼り、ゲームを行う。 ・ゲームが終わったら、黒板の絵カードの職業の言い方を児童と再度確認しながら、黒板の右と左に絵カードを分けて貼る。左側に singer, fire fighter, farmer, zoo keeper など、右側に artist, dentist, florist を貼る。 ・児童に、左側と右側の職業の語の特色を尋ね、それぞれ語尾が[ər], [ist]であることに気付かせる。英語の職業の語尾が、これらで終わることが多いことから、日本語の職業の語尾についても考えさせ、「家」「士」「者」などがつくことが多いことに気付かせる。これらの活動を通して、日本語と英語の言葉の成り立ちの共通点に気付かせる。 ※評価②	教師用絵カード (職業) デジタル教材
・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価規準

①職業を表す語を聞いたり言ったりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

②職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。【気】 <行動観察・振り返りカード分析>

2-Lesson 8 What do you want to be? 3/4時間

目標 就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準備 教師用絵カード（職業）、デジタル教材、（八つ切り画用紙）、（振り返りカード）

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Chant】“What do you want to be?” p. 40</p> <p>・音声教材を聞いて、教師用絵カードに合わせて言う。</p> <p>・別の職業に替えて言う。</p>	<p>・音声教材を聞かせ、教師用絵カードを見せながら、一緒に言う。</p> <p>・別の職業に替えて、一緒に言う。</p>	<p>教師用絵カード（職業）</p> <p>デジタル教材</p>
<p>○ステレオゲームをする。</p> <p>（指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照）</p> <p>・代表児童は、就きたい職業を答える。</p> <p>・ほかの児童は、What do you want to be? と尋ねる。</p>	<p>・代表児童に、What do you want to be? と尋ねる。</p> <p>慣れてきたらほかの児童も一緒に尋ねさせる。</p>	<p>教師用絵カード（職業）</p>
<p>○チェンゲームをする。</p> <p>（指導編 Hi, friends! 2 p. 33 参照）</p> <p>・1列で1グループになりゲームをする。</p> <p>・答える児童は、I want to be ～、～、～、and ～. のように、自分の前の人の答えをすべて含めて答える。</p>	<p>・代表児童とデモンストレーションをして、やり方を示す。</p> <p>・1グループ、1列になり、What do you want to be? I want to be ～. のやり取りをして、列最後尾の児童は、自分の前のすべて児童が答えた職業も含めて答える。</p> <p>※評価</p>	
<p>【Let's Play】 p. 40</p> <p>・出会った友達にインタビューし、友達の名前と夢を誌面の表に書く。</p>	<p>・教室内を自由に移動し、出会った友達に就きたい職業についてインタビューさせる。</p> <p>※評価</p>	<p>デジタル教材</p>
<p>【Activity】 p. 40</p> <p>・誌面の3人の子どもの夢を、これまでのことから推測する。音声教材を聞いて、わかったことを空欄に書く。</p> <p>・「あなたの『夢宣言』をしよう。」の準備をする。就きたい職業についてのヒントを考えたり、絵を描いてポスターを作成したりして、発表の準備をする。</p>	<p>・さくら、たく、アレクシそれぞれの夢を推測させてから、音声教材を聞かせ、わかったことを空欄に書かせる。</p> <p>・次時に、この音声を参考にそれぞれが「夢宣言」をすることを告げ、その準備をすることを告げる。</p>	<p>八つ切り画用紙</p> <p>デジタル教材</p>
<p>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・次時に、就きたい職業についてポスターをもとにクイズ形式で紹介することを予告し、ポスターを完成させておくよう告げる。</p> <p>・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

評価規準

・就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

2-Lesson 8 What do you want to be? 4/4 時間

目 標 世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることに気づき、相手意識をもって自分の夢を紹介しようとする。

準 備 教師用絵カード (職業), デジタル教材, (八つ切り画用紙), (振り返りカード),

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Chant】 “What do you want to be?” p. 40</p> <p>・音声教材を聞きながら言う。 ・別の職業に替えて言う。</p>	<p>・教師用絵カードを見せながら、一緒に言う。 ・別の職業に替えて、一緒に言う。</p>	<p>教師用絵カード (職業) デジタル教材</p>
<p>【Activity】 p. 40</p> <p>・グループで、作成したポスターをもとに「あなたの『夢宣言』をしよう。」をクイズ形式で行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【発表の例】 A : 発表児童 B : 発表を聞いて夢を当てるグループの児童</p> <p>A : I like sports. I like soccer. B : A soccer player? A : That's right. I want to be a soccer player. B : どうしてですか。 A : サッカー選手になって、世界の選手と友達になり、サッカーで平和な世界にしたいからです。 B : Nice dream. Good luck. You can do it. A : Thank you.</p> </div>	<p>・1グループ対1グループで、作成したポスターをもとにクイズ形式で就きたい職業を紹介させる。 ※評価①</p>	<p>八つ切り画用紙 デジタル教材 振り返りカード</p>
<p>・代表児童が、みんなの前で「夢宣言」をきる。</p> <p>・2年間の外国語活動や本時の活動を通して、感じたこと、考えたことなどを発表する。 ・振り返りカードに記入する。</p>	<p>・世界の同年代の子どもたちの夢を紹介する。その環境によって様々な夢をもっている子どもたちがいることに気付かせるとともに、厳しい環境の中で一生懸命に生活している子どもたちの強さに学ばせたい。 ※評価②</p> <p>・何人かの児童に、みんなの前で「夢宣言」をさせる。</p> <p>・Hi, friends! 2 裏表紙の内側を見させ、大きくなったさくらとたくを紹介する。また、H, friends! 2 の表紙を広げてみさせ、Hi, friends! 1 の表紙を思い出して比べさせ、これがどのような場面かを考えさせる。本冊子登場人物が、家族や先生たちのもとに戻ろうとしている表紙の絵の場面であることを紹介し、その意味を考えさせる。また、2年間の外国語活動を通して成長したことを確認し、外国語活動の授業を終える。</p>	

評価規準

①相手意識をもって自分の夢を紹介している。【コ】 <行動観察・振り返りカード点検>

②世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることに気付いている。【気】 <行動観察・振り返りカード分析>